

口腔保健衛生学概論

1 単位 (必修) 1 年 (前期)

Introduction of Oral Health and Welfare

伊賀 弘起 (授業責任者)・教授 / 口腔保健学科 口腔保健基礎学講座, 羽田 勝・教授 / 口腔保健学科 口腔保健福祉学講座

日野出 大輔・教授 / 口腔保健学科 口腔保健基礎学講座, 尾崎 和美・教授 / 口腔保健学科 口腔保健支援学講座, 白山 靖彦・教授 / 口腔保健学科 口腔保健福祉学講座

松山 美和・教授 / 口腔保健学科 口腔保健支援学講座, 竹内 祐子・助教 / 口腔保健学科 口腔保健福祉学講座, 星野 由美・助教 / 口腔保健学科 口腔保健基礎学講座

中道 敦子・講師 / 口腔保健学科 口腔保健支援学講座, 藤原 奈津美・助教 / 口腔保健学科 口腔保健支援学講座

【授業目的】 人々の健康・福祉を支援し、国民の QOL 向上に貢献する歯科保健医療・福祉の在り方について理解する。

【授業概要】 歯学における口腔保健衛生学の概要を説明し、国民の QOL(生活・人生の質)向上のために、口腔の健康を保持増進することの重要性について教授する。また、口腔保健が人々の健康および福祉に果たす役割について PBL(Problem Based Learning) 形式の小グループディスカッションを行うことにより、将来目指す歯科衛生士および社会福祉士としての自覚と責任を涵養する。

【授業形式】 講義

【授業方法】 講義形式(視聴覚教材, プリントなどを適宜用いる)

小グループディスカッション(シナリオを準備, パソコンとプロジェクターを用いて発表する。なお PBL の授業の進め方, グループ分け等については授業開始までに配布するマニュアルにて周知する。)

【授業場所】 金曜 3 時限目 第 7 講義室, チュートリアル室 4,5,6

【授業テーマ】 [授業テーマ]

【キーワード】 [キーワード]

【先行科目】 [先行科目]

【関連科目】 [関連科目]

【履修上の注意】 口腔保健衛生学概論の授業では授業計画の「内容」の欄に各講義事項のキーワードを掲載している。①受講者は各回のキーワードについて事前に予習して理解した内容を簡潔に纏めること。②受講者は毎回受講後に学習成果を基にキーワードについて再度内容を簡潔に纏めること。また予習時の内容と復習時の内容を比較して学習成果を確認すること。③試験は全講義数の 2/3 以上の出席を満たしている者に対して行う。④予習, 復習をすることが出席評価に含まれる。

【到達目標】

1. 歯学および口腔保健衛生学の概要を説明できる。
2. 健康および保健医療・福祉の概念を説明できる。
3. 口腔保健が人々の健康および福祉に果たす役割について説明できる。
4. 歯科衛生士の役割について概説できる。

5. 社会福祉士の役割について概説できる。

6. 口腔保健に関するグループ討議において、同級生や教員と意見交換し、問題点を論理的に整理できる。

7. 口腔保健に関するテーマについてグループ討議で整理した問題点に対して、解決方法を自ら見出すことができる。

【授業計画】

	大項目	中項目	内容	到達目標	担当
1.	口腔の健康と QOL	序論	口腔保健衛生学の概要, 健康および保健医療・福祉の概念	1,2	羽田
2.	〃	口腔保健医療の歴史	医療, 歯科医療の略史	3	日野出
3.	〃	口腔の健康保持・増進	口腔保健衛生と公衆衛生	〃	〃
4.	〃	歯科診療体系	歯科診療における各診療科の種類, 対象疾患と治療法の概要	〃	伊賀
5.	〃	口腔保健衛生と歯周疾患	口腔保健衛生における歯周疾患対策の意味	〃	尾崎
6.	〃	社会福祉と歯科医療	社会福祉制度の概要, 社会福祉のなかの歯科医療	〃	羽田
7.	〃	咬合(噛み合わせ)と QOL	咬合の概要, 咬合と人の健康および病気の関連	〃	松山
8.	口腔保健の役割	PBL 課題 I(歯科衛生士関連)	シナリオ提示	3,4,6,7	中道, 星野, 藤原
9.	〃	〃	小グループディスカッション	〃	〃
10.	〃	〃	発表	〃	〃
11.	〃	〃	フィードバック	〃	〃
12.	〃	PBL 課題 II(社会福祉士関連)	シナリオ提示	3,5,6,7	白山, 羽田, 竹内
13.	〃	〃	小グループディスカッション	〃	〃
14.	〃	〃	発表	〃	〃
15.	〃	〃	フィードバック	〃	〃

【成績評価】 筆記試験および小グループディスカッションの評価点により総合的に判定する。

評価は 100 点満点で 60 点以上を合格とする。

【再試験】 必要に応じて行う。

【教科書】 教科書は使用しないが、下記に示す参考書など、できるだけ多くの関連書ならびに雑誌を参考にするとよい。

【参考書】

- ◇ 口腔保健学 第 2 版, 医歯薬出版, 2002
- ◇ 国民衛生の動向, 厚生統計協会, 2007
- ◇ 歯科衛生の動向, 2007 年版 (日本口腔衛生学会), 医歯薬出版, 2007

【授業コンテンツ】 <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=217272>

【連絡先】

- ⇒ 羽田 勝 (hada@dent.tokushima-u.ac.jp/6F口腔保健学科・第1研究室/633-9171) (オフィスアワー: 月~ 金17:00~ 18:00)
- ⇒ 日野出 大輔 (hinode@dent.tokushima-u.ac.jp/6F口腔保健学科・教授室/633-7543) (オフィスアワー: 月~ 金17:00~ 18:00)
- ⇒ 伊賀 弘起(iga@dent.tokushima-u.ac.jp/5F口腔保健学科・教授室/633-7963) (オフィスアワー: 月~ 金17:00~ 18:00)
- ⇒ 尾崎 和美 (ozaki@dent.tokushima-u.ac.jp/6F口腔保健学科・第2研究室/633-9309) (オフィスアワー: 月~ 金17:00~ 18:00)
- ⇒ 中道 (088-633-7898, dh-nakamichi-0702@dent.tokushima-u.ac.jp) [MAIL](#)
- ⇒ 藤原 .

Introduction of Oral Health and Welfare

1 unit (compulsory) 1st-year(1st semester)

Hiroki Iga(Manager) · PROFESSOR / FUNDAMENTAL ORAL HEALTH SCIENCE, SCHOOL OF ORAL HEALTH AND WELFARE, **Masaru Hada** · PROFESSOR / ORAL HEALTH SCIENCE AND SOCIAL WELFARE, SCHOOL OF ORAL HEALTH AND WELFARE

Daisuke Hinode · PROFESSOR / FUNDAMENTAL ORAL HEALTH SCIENCE, SCHOOL OF ORAL HEALTH AND WELFARE, **Kazumi Ozaki** · PROFESSOR / ORAL HEALTH CARE PROMOTION, SCHOOL OF ORAL HEALTH AND WELFARE

Yasuhiko Shirayama · PROFESSOR / ORAL HEALTH SCIENCE AND SOCIAL WELFARE, SCHOOL OF ORAL HEALTH AND WELFARE, **Miwa Matsuyama** · PROFESSOR / ORAL HEALTH CARE PROMOTION, SCHOOL OF ORAL HEALTH AND WELFARE

Yuko Takeuchi · ASSISTANT PROFESSOR / ORAL HEALTH SCIENCE AND SOCIAL WELFARE, SCHOOL OF ORAL HEALTH AND WELFARE, **Yumi Hoshimo** · ASSISTANT PROFESSOR / FUNDAMENTAL ORAL HEALTH SCIENCE, SCHOOL OF ORAL HEALTH AND WELFARE

Atsuko Nakamichi · ASSOCIATE PROFESSOR / ORAL HEALTH CARE PROMOTION, SCHOOL OF ORAL HEALTH AND WELFARE, **Natsumi Fujiwara** · ASSISTANT PROFESSOR / ORAL HEALTH CARE PROMOTION, SCHOOL OF ORAL HEALTH AND WELFARE

Target) 人々の健康・福祉を支援し、国民の QOL 向上に貢献する歯科保健医療・福祉の在り方について理解する。

Outline) 歯学における口腔保健衛生学の概要を説明し、国民の QOL(生活・人生の質)向上のために、口腔の健康を保持増進することの重要性について教授する。また、口腔保健が人々の健康および福祉に果たす役割について PBL(Problem Based Learning) 形式の小グループディスカッションを行うことにより、将来目指す歯科衛生士および社会福祉士としての自覚と責任を涵養する。

Style) Lecture

Manner) 講義形式(視聴覚教材、プリントなどを適宜用いる)

小グループディスカッション(シナリオを準備、パソコンとプロジェクターを用いて発表する。なお PBL の授業の進め方、グループ分け等については授業開始までに配布するマニュアルにて周知する。)

Location) 金曜 3 時限目 第 7 講義室、チュートリアル室 4,5,6

Theme) [授業テーマ]

Keyword) [キーワード]

Fundamental Lecture) [先行科目]

Relational Lecture) [関連科目]

Notice) 口腔保健衛生学概論の授業では授業計画の「内容」の欄に各講義事項のキーワードを掲載している。①受講者は各回のキーワードについて事前に予習して理解した内容を簡潔に纏めること。②受講者は毎回受講後に学習成果を基にキーワードについて再度内容を簡潔に纏めること。また予習時の内容と復習時の内容を比較して学習成果を確認すること。③試験は全講義数の 2/3 以上の出席を満たしている者に対して行う。④予習、復習をすることが出席評価に含まれる。

Goal)

1. 歯学および口腔保健衛生学の概要を説明できる。
2. 健康および保健医療・福祉の概念を説明できる。
3. 口腔保健が人々の健康および福祉に果たす役割について説明できる。

4. 歯科衛生士の役割について概説できる。

5. 社会福祉士の役割について概説できる。

6. 口腔保健に関するグループ討議において、同級生や教員と意見交換し、問題点を論理的に整理できる。

7. 口腔保健に関するテーマについてグループ討議で整理した問題点に対して、解決方法を自ら見出すことができる。

Schedule)

	大項目	中項目	内容	到達目標	担当
1.	口腔の健康と QOL	序論	口腔保健衛生学の概要、健康および保健医療・福祉の概念	1,2	羽田
2.	〃	口腔保健医療の歴史	医療、歯科医療の略史	3	日野出
3.	〃	口腔の健康保持・増進	口腔保健衛生と公衆衛生	〃	〃
4.	〃	歯科診療体系	歯科診療における各診療科の種類、対象疾患と治療法の概要	〃	伊賀
5.	〃	口腔保健衛生と歯周疾患	口腔保健衛生における歯周疾患対策の意味	〃	尾崎
6.	〃	社会福祉と歯科医療	社会福祉制度の概要、社会福祉のなかの歯科医療	〃	羽田
7.	〃	咬合(噛み合わせ)と QOL	咬合の概要、咬合と人の健康および病気との関連	〃	松山
8.	口腔保健の役割	PBL 課題 I(歯科衛生士関連)	シナリオ提示	3,4,6,7	中道, 星野, 藤原
9.	〃	〃	小グループディスカッション	〃	〃
10.	〃	〃	発表	〃	〃
11.	〃	〃	フィードバック	〃	〃
12.	〃	PBL 課題 II(社会福祉士関連)	シナリオ提示	3,5,6,7	白山, 羽田, 竹内
13.	〃	〃	小グループディスカッション	〃	〃

14.	”	”	発表	”	”
15.	”	”	フィードバック	”	”

Evaluation Criteria 筆記試験および小グループディスカッションの評価点により総合的に判定する。

評価は100点満点で60点以上を合格とする。

Re-evaluation 必要に応じて行う。

Textbook 教科書は使用しないが、下記に示す参考書など、できるだけ多くの関連書ならびに雑誌を参考にするとよい。

Reference

- ◇ 口腔保健学 第2版, 医歯薬出版, 2002
- ◇ 国民衛生の動向, 厚生統計協会, 2007
- ◇ 歯科衛生の動向, 2007年版(日本口腔衛生学会), 医歯薬出版, 2007

Contents <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=217272>

Contact

- ⇒ 羽田 勝 (hada@dent.tokushima-u.ac.jp/6F口腔保健学科・第1研究室/633-9171) (Office Hour: 月~ 金17:00~ 18:00)
- ⇒ 日野出 大輔 (hinode@dent.tokushima-u.ac.jp/6F口腔保健学科・教授室/633-7543) (Office Hour: 月~ 金17:00~ 18:00)
- ⇒ 伊賀 弘起(iga@dent.tokushima-u.ac.jp/5F口腔保健学科・教授室/633-7963) (Office Hour: 月~ 金17:00~ 18:00)
- ⇒ 尾崎 和美 (ozaki@dent.tokushima-u.ac.jp/6F口腔保健学科・第2研究室/633-9309) (Office Hour: 月~ 金17:00~ 18:00)
- ⇒ Nakamichi (+81-88-633-7898, dh-nakamichi-0702@dent.tokushima-u.ac.jp) MAIL
- ⇒ Fujiwara .